（３）②様式第３号－２（報告書）

※文字のフォント、大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※写真は、進行プログラムに沿って適宜、右ページに簡単な説明文を添えて貼り付けてください。
※必ず A３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

| | |
|---|---|
| NITS・教職大学院・教育委員会等コラボ研修プログラム支援事業報告書 | 実施機関名・連携機関名<br>千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻 |
| | 事業名：ミドルリーダー養成研修 |
| | 【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】 ミドルリーダー養成研修（全４回）<br>これからの学校におけるミドルリーダーの役割<br>～地域のもつ課題に取り組む（地域の特色を生かす、活性化を図る取組を通して）～ |
| | 開催日時：令和６年 10 月 5,19 日,11 月 2,16 日 14:30～17:40<br>開催場所：千葉大学（千葉県千葉市弥生町 1-33）<br>参加人数と参加者の属性：（延べ 188 人）現職教員 168 人、学生他 20 人 |

**目的：** 地方教育行政のトップリーダーである教育長等の講話から，ミドル層及び管理職に対する願いや求められる資質・能力について学ぶとともに，ディスカッションを通じて，今日の教育課題に対応するための広い見識を持ち，学校及び地域の教育をけん引することができるミドルリーダーさらにはトップリーダーの育成を目指す。

**内容：** 前半は教育長等からの講話、後半は教育長と参加者代表がパネラーとなりディスカッションを実施した。ディスカッションにおいては、フロアの質問、意見をできるだけ取り入れるよう工夫した。

<各回の教育長等講話の主な内容とディスカッションにおけるテーマ>

10 月　5 日（第１回）★千葉市　鶴岡克彦　教育長
（ディスカッションの主なテーマ）
教育施策を学校現場に浸透させていく方策についてほか

10 月 19 日（第２回）★県教育庁　荒金誠司　教育振興部長
★鋸南町　富永安男　教育長
（ディスカッションの主なテーマ）
地域特性を踏まえた施策の優先順位についてほか

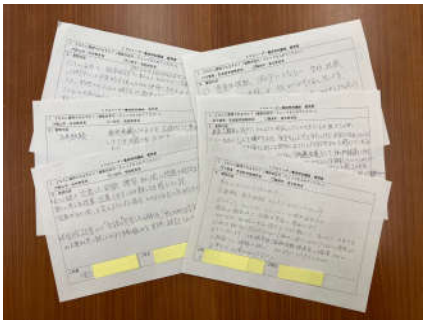
11 月　2 日（第３回）★館山市　石井浩己　教育長
★八街市　浅尾智康　教育長
（ディスカッションの主なテーマ）
地域の特性を活かす教育についてほか

11 月 16 日（第４回）★白子町　御園正二　教育長
★神崎町　小川泰久　教育長
（ディスカッションの主なテーマ）
人口減少地域での人材育成についてほか

**成果：** アンケートから

Q 内容に満足したか…とても満足 70%、まあ満足 22%、あまり満足しない 8%・満足しない 0%
Q また参加したいか…とても思う 77%、まあ思う 17%、あまり思わない 4%・思わない 2%
＜自由記述から抜粋＞
・教育長のお話を直接伺うことができ、教育長の教育への熱量を肌で感じ取ることができました。
・自身が所属する市の教育長からのお話は自分事として考えられるものでした。将来的に管理職になっていくことを考えると、どのように取組むべきかが見えてきました。
・時間が足りないと思えるほど楽しい時間でした。教育界の動きが見え、意識の変容に繋がりました。
・今日の講座では、ふるさと教育の重要性を再確認し、地域の特色や良さをどのように教育にいかしていくのかについて学ぶことができました。
・ミドルリーダーとしてどのような姿が期待されているのかについてよくわかりました。一方で、それを実現するためにはどのようなアプローチで行けばいいのかはこれからの課題だと思いました。
・特色ある教育という取組ならばそこにもっとクローズアップして話す機会があってもよいと思いました。情報が多岐にわたるので、つかみにくいかなと思いました。

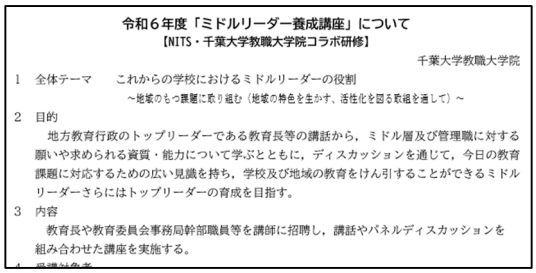
**「NITS からの提案（第一次）」との関連における研修担当者としての気付き**



⇦質問用紙の配付、回収により、効率的に多くの質問・意見を集約できた。

研修時間の中で、個々の参加者がどのようなことを考え、どのような疑問をもっているのかを把握することの難しさをこれまで感じていたが、参加者に研修の途中で質問等を記述したペーパーを提出していただくことにより、その把握が少しでもできるようになり、講話後のディスカッションの前に講師の方へフィードバックできたことは、より参加者に寄り添った研修にするという意味で有効であった。

⇩このほかテーマ及びサブテーマ、目的、内容等を事前に参加者に提示することで、参加者は事前に、準備や心構え、ねらいを持つことができた。



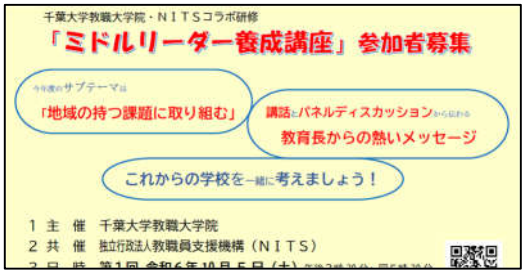
令和６年度「ミドルリーダー養成講座」について
【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】

千葉大学教職大学院

1　全体テーマ　　これからの学校におけるミドルリーダーの役割
～地域のもつ課題に取り組む（地域の特色を生かす、活性化を図る取組を通して）～

2　目的
地方教育行政のトップリーダーである教育長等の講話から，ミドル層及び管理職に対する願いや求められる資質・能力について学ぶとともに，ディスカッションを通じて，今日の教育課題に対応するための広い見識を持ち，学校及び地域の教育をけん引することができるミドルリーダーさらにはトップリーダーの育成を目指す。

3　内容
教育長や教育委員会事務局幹部職員等を講師に招聘し，講話やパネルディスカッションを組み合わせた講座を実施する。




**アイディアや工夫したこと：**

○テーマにかかる講話から始める

○質問や自らの意見をあらかじめ配付した用紙に記入させ回収し、ディスカッションに役立てる（再掲）

○教育長の依頼にあっては、地域の特性や市町村の規模、取組等を考慮した